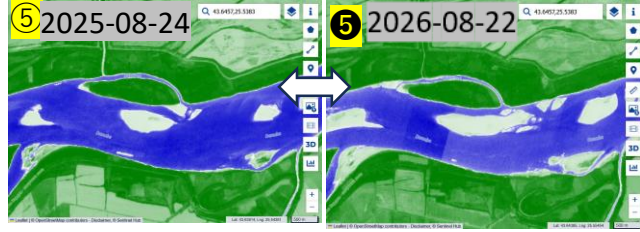
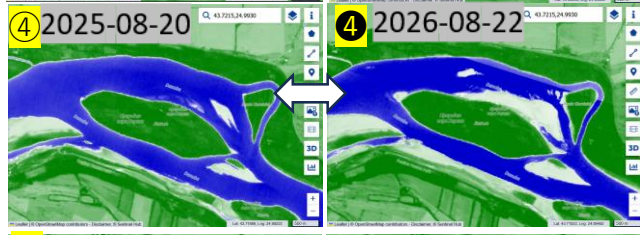
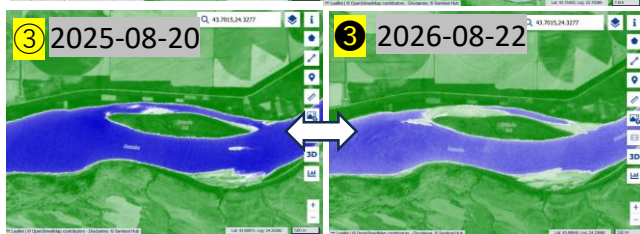


2026年8月24日

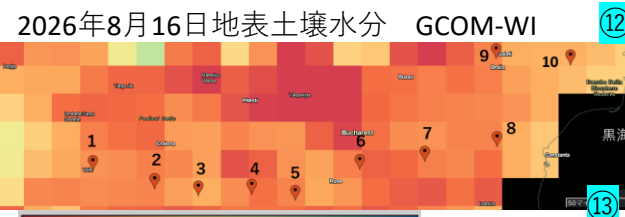
YACかわら版749

水位低下 ドナウ川



熱波と干ばつでヨーロッパ第2位全長約2,860kmのドナウ川の水位が大きくさがっています。

コペルニクスブラウザをつかってセンチネル2のNDWI（正規化水指数）レイヤーで水位低下を探ります。水が光を反射・吸収する特性を利用し、川の水域をみます。川の中州などを目印にすると水位低下が鮮明です。⑬ ①～⑩ ⑪ また、JAXAのしずく（GCOM-W）のデータも参考にします。⑫



具体的な水位変化の数値は不明ですが、中洲の面積の増大や、水色の面積や濃さの変化が手掛かりになります。

河川の水は生活用水・農業用水・工業用水等に欠くことができません。船舶の航行や原子力発電所の冷却水としても不可欠です。

ドナウ川の水位低下から改めて学んでいます。

分析位置一覧表

番号	地名	位置情報	土壌水分
1	バサラビ	44.0179,23.0082	22
2	コズロドイ	43.7892,23.7806	19
3	グラディシュチェア	43.7015,24.3277	28
4	ラクト	43.7215,24.9930	15
5	ガスカ	43.6457,25.5383	19
6	トゥトラカン	44.0326,26.3415	18
7	シリストラ	44.1336,27.1544	18
8	チェルナヴォダ	44.3177,28.0574	19
9	マゼバ	45.4182,28.0473	19
10	タタニル	45.3385,28.9771	32

土壌水分（％）2026年8月16日

